

反戦短歌 応募作品一覧

- 一. 戦場の橋を渡りて泰緬の河に散らばる人の骨骨 (F.T)
たいめん
- 二. 国のため罪を背負えど死に行けど棺桶はなく塹壕の墓 (ユウキ)
- 三. 今もなお語り伝わる特攻隊今の平和に想いをはせる (S.E)
- 四. 英霊が遺した国を守るため今こそ学ぶ理想の平和 (ユウキ)
- 五. 戦争に突き進むなら崩壊へ止める勇気が未来を創る (ユウキ)
- 六. 夏の夜に母の背中でみた光4才半の記憶鮮明 (K.S)
- 七. 夕げ時見しらぬ人が玄関に家族にまぎれ食して帰る (K.S)
- 八. 北2回南も2回みた光り久留米と大牟田大人が話 (K.S)
- 九. 砲弾の代わりに落とす本手紙たたかいとめたそらいろ男爵(わっち)
- 一〇. 大久野島地図から消された毒ガス島被害は語れど加害は語らず (Y.A)
- 一一. 傷を得たものが若葉に告ぐ意志は戦無き世と世界の平和 (I.M)
- 一二. 羽小まえ機銃のおとさく裂し命つきはつ学徒の少女(ばーらんせーた)
- 一三. 世の中に声あげ進む若人は平和大使の高校生 (S.E)
- 一四. 平和な世便利なりすぎわがままに三つ子の教え忘れ去りゆく (S.E)

反戦短歌 応募作品一覧

- 一五. 鳩寿過ぎて母は語りし原爆雲丘の社宅の窓から見しと（くれはやし しゅん）
- 一六. 引き揚げの故郷の一步踏みしめし父親偲びて舞鶴に立つ（のりピーさん）
- 一七. 極寒のシベリア帰りの父偲び立ちたる舞鶴引揚棧橋（のりピーさん）
- 一八. 人々を殺す戦争やめようよ平和を願い声をあげよう（ひよこ）
- 一九. 夏の日リュック背ってただいまと祖母と叔母の涙の抱擁（KS）
- 二十. 食レポも Gaza ジェノサイドもスポーツも同列に差し出され消へゆく（N.Y）
- 二一. 満州もシベリアも語ることなく旗のみを拒みて父逝けり（N.Y）
- 二二. 戦前や戦後という基準ない地球の歴史刻まんとする（ゆるり）
- 二三. その正義あまたの命ひきかえに戦争なんぞにヒーローはなし（ゆるり）
- 二四. 世界中の子どもたちをつつみたい愛と安らぎで満たされるように（ゆるり）
- 二五. 烈風に小さき叫びかき消され風過ぎ行けば平らかな国（W.M）
- 二六. 目隠しで弱き方へと押し付ける美しき国私の国（W.M）
- 二七. ふたおやのおわす筑豊の方に向き乗船告げて手を合わすなり（I.H）

反戦短歌 応募作品一覧

- 二八. 潜艦の攻撃避けし衝撃に船艙ついでて圧死者いくたり (I.H))
- 二九. 戦死せる兵らの遺骸弔われ船艙ついでて水葬となる (I.H)
- 三十. さっそうと歩く若人背中押す偉くなるんだきれいになれよ (Y.H)
- 三一. 檻の外自種を殺して嬉しそう！動物人間絶滅の危機 (Y.H)
- 三二. 人間のすべてを壊しまた殺す賢くないよ「人」なんて (Y.H)
- 三三. 六月九日吾が家の硝子窓に赤々と耳をつんざく焼夷弾の音 (E.N)
- 三四. 窓ガラスは真赤に染りガタガタと脅えし記憶の吾は六歳 (E.M)
- 三五. 川を隔て次々落ちし焼夷弾に脅えし吾の脳裏に今も (E.N)
- 三六. 見送ったその日の空を思うたび叔父の涙が胸締めつける (M.K)
- 三七. 戦争を語らなかった祖母だった毎晩聞こえた南無阿弥陀仏いつも (梶)
- 三八. 戦場を帰る息子を抱きしめた止まらぬ涙それが母親 (つばめ)
- 三九. 沖縄の桜とつくに散っているデイゴの花は今も咲いてる (ヤンバルクイナ)
- 四十. 戦争はだめだったと言が未だ言えずにだめな人間 (鳩)

反戦短歌 応募作品一覧

- 四一. 反戦を詠もうと歴史時事調べ関心こそが平和の一步 (O.Y)
- 四二「あやまちは繰り返しません」広島にくやしき固め賢人が起つ (Y.H)
- 四三. 狂ってる世の中こそが、正論を狂っているとかわして攻める (Y.H)
- 四四 隣りには死が立っていた大叔父記す抑留の日を (あさのつき)
- 四五. 戦時下にお国のためにと目をつぶり持っていかれし床屋の椅子も (K.M)
- 四六. 語るたび心に芽吹く不戦の芽揺るがぬ声が未来を拓く (Y.M)
- 四七. 戦争の数字があばく人間のどこが賢くどこがきれいか (Y.H)
- 四八. 争ってやがて気がつく幸せは普通に生きる事もなき日々 (T.K)
- 四九. 天の川煙たくないか燻って回り続けるこの青い星 (T.K)
- 五十. 分け合えば足りるを知らず奪い合う青い地球の命縮めて (T.K)
- 五一. 蹴球やダンスにかまけて忘れゆく戦争記憶は筑後川に流し (M.T)
- 五二. 大牟田の軍事工場へまいります微用令の紙切れひとつで (M.T)
- 五三. あの頃に戻りたくない絶対に軍事機密の周防灘台風 (M.T)

反戦短歌 応募作品一覧

五四. 親を見て決して我が子を戦場へ見送ることの無きと思えば（鷹）

五五. 疎開船希望の光搔き消され今も漂う後悔の海（鷺）

五六. たくしたよチリンのすずにせんそうがだいきらいだとやなせたかしは（F.H）

五七. 焼夷弾母背負い逃げまどう小さきグリーンの防空頭巾（ノブ）

五八. 戦争は二度とごめんと戦争を戦後生まれがしたり顔して（鳥）

五九. 戦争で教師になれぬわが母は運の悪さを口にしていた（雀）

六十. 国よりも愛する人を守りたいたとえ陰口言われようとも（雲雀）

六一. 戦争が茶の間のテレビ独り占め何もできずに悔しがるだけ（鶴）

六二. アメリカもアメリカ人もゆるします原爆だけはゆるしません（N.H）

六三. 為政者は金城湯池でのうのうと戦は和平の術とのたまう（順純 淳）

六四. そこかしこ戦禍の絶えぬこの惑星で八十年の必然と偶然（白寂）

六五. 晩酌の向こうに映る老兵の見透かすような遠い眼差し（白寂）

六六. 戦よりじゃんけんでいい代表者グーで負けても命は守る（がていゝ？野間口）

六七. 戦争中食べ物争そい兄弟も平和続きて天寿全う（Y.H）

反戦短歌 応募作品一覧

- 六八. 戦争はしてはいけない絶対に大切な命地球を守ろう (K子)
- 六九. 見せようかからだきらめく右こぶしあっためてからぶりそらのりゆうせい (がりがり)
- 七十. 報道で戦争のむごさ目の当たりに80年目の節目反戦短歌詠む (K子)
- 七一. 長崎の時計台から鐘が鳴る過去の重さを響かせながら (カナリヤ)
- 七二. 平和へのアンテナ高くそびえ立つ見えぬ力に逆らいながら (ニワトリ)
- 七三. 赤トンボ見守り飛べる鬼ヤンマ人だけなぜ空奪い合う (TK)
- 七四. 戦争の火花は世界にとび散りて我が日本には来ないでと願う (お富さん)
- 七五. 戦争の悲話語り継ぎ子供らの未来の平和永遠に祈らむ (H.H)
- 七六. A piece of cake 私の分あげるだからフオーク彷徨わないで (K.N)
- 七七. In front of atomic bomb dome ピースする人にシャッターを切る (K.N)
- 七八. 幾度の時を隔り戦火にて倒れし伯父の思いを刻む (みずかめ)
- 七九. つかの間の静けさ募のる山肌に時を経りしの故人の姿 (みずかめ)
- 八十. 暴力の手立ては数多あり飢えさせてそれらを観ているだけとか (N.Y)
- 八一. 戦争は幼き身体に覚えあり父親取られて女子供に (O.M)
- 八二. 登下校「グラマン」きたりて麦畑のみぞに体を伸して耐えた (O.M)

反戦短歌 応募作品一覧

- 八三. みなさんで「この戦争さえなかったら」世界中に叫んでみようよ (T.S)
- 八四. 大空に平和の鳩は放されて慰霊現場を大きく回る (T.S)
- 八五. 保土ヶ谷の軍人墓誌の子に親の「永遠の安らぎ平和を」と刻まる (T.M)
- 八六. 今もなほ飛行機の音におびへます三つ子の魂百までの痛ひ (T.M)
- 八七. 原爆の投下後今日で八十年平和続けと黙祷をする (F.Y)
- 八八. 「戦争は病気のために行ってない」悔いてた父の顔が浮かびぬ (F.Y)
- 八九. 原爆の残り火の前で祈りをり「核の根絶」「世界平和」 (N.A)
- 九十. 被ばく者を母に持つといふ語りべは「恒久平和」の実現願う (N.A)
- 九一. 園児らとシャボン玉しっつ思いをり同じ地区のガザ地区の児ら (U.K)
- 九二. 「これ食べんこっちがよか」と言ふ孫にガザの子どもの飢餓を話しぬ (U.K)
- 九三. スーパーの七夕飾りのをさなの字「プーチンせんそうやめてください」 (O.H)
- 九四. 古い五人酷暑の中を長崎の反戦テーマの短歌会へ向かふ (O.H)
- 九五. 原爆忌生徒らつぎつぎ登校す黙祷するよね〈八時十五分〉 (T.E)
- 九六. 原爆忌書歌会に被爆当事者が声ふるわせて「核なき世界」 (T.E)

反戦短歌 応募作品一覧

九七. 願いても戦争絶えぬ大陸に一人歩きの〈世界平和〉よ (K.K)

九八. 「全世界ひとつの船」と言う老の想いよとどけ支配者たちへ (K.K)

九九. 被爆地の「更なる平和」続くよう願い込めたる灯籠流し (T.K)

百. 鬼の面かぶりて成すか戦争を早く外せと世界が願ふ (K.E)

百一. 特攻の翼とともに散る桜二度と帰らぬ命宿して (不死鳥)

百二. 玉碎す兵の身体の何処にや帰りて来る小石が軽い (K.S)

百三. 武器を買う金はある米はない欲しがりません戦争は敵 (K.S)

百四. 英霊と讃える戦後も変わらない検閲済みの遺書とナラティブ (K.S)

百五. 戦にて被爆の日本世界中苦しみ伝へ平和祈らむ (H.H)

百六. 戦争の悲話語り継ぎ世界中恒久平和共に祈らむ (H.H)

百七. 反戦の誓いを述べる児童らの澄んだ瞳に希望の火見ゆ (K.F)

百八. 業の果て明日の命を握られてただ空ばかり澄み渡るなり (白寂)

百九. 銃置き場を見失えば雨はじまりは人魂の降る占領地にて (N.K)

百十. 故郷よりミサイル飛びし夜赫き火の染む香の先の灰落つ (N.K)

反戦短歌 応募作品一覧

百十一. やめたいやめたいのに先生は黙って今日も隆起する山 (NK)

百十二. ハルマヘラに出征した父中学生の我に語れり激戦の島 (こち君)

百十三. 祈り込め短冊結ぶ笹に風平和の文字が星空に舞う (YUMI)

百十四. 紅顔のセーラー服の叔父のもと八十年経てコーラを供ふ (Y.S)

百十五. 虐殺は今も昔も変わらないしたくもないしされたくもない (S.Y)

百十六. 非国民罵られても知るものか反戦の声大きく叫ぶ (S.Y)

百十七. 夫がね戦争行くと云ったなら離婚確定死なせるものか (S.Y)

百十八. 赤紙を破り捨てたら非国民そんな国など潰れてしまえ (S.Y)

百十九. 戦争で飢えに苦しみ芋かじる子どもにそれをさせたいか (S.Y)

百二十. エイリアン来るなら今だ全世界協力なんてしないのだから (S.Y)

百二十一. 支援隊やってることは立派だよ後方支援殺人支援 (S.Y)

百二十二. 唯一の被爆国だが核武装そんな国なら無くなれば良い (S.Y)

百二十三. 非国民そう言われても生きていく森の中でもアナタとならね (S.Y)

百二十四. 偉い人核を後押しするなんてなんて無意味な八十年 (S.Y)

反戦短歌 応募作品一覧

百二十五. 終戦日開戦無いと普通の日それを望むよ未来永劫 (S.Y)

百二十六. 青い空戦時と今と同じ空今なお続く世界の戦争 (S.Y)

百二十七. 終戦の八十年の時は過ぎ心重たき反戦の「短歌」 (O.W)
うた

百二十八. 終戦は戦争知らぬ世代増え反戦意識の薄れ気がかり (O.W)

百二十九. 反戦で平和の重み伝えんと今日のお昼はおにぎり二個で (O.W)

百三十. 孫たちに「あんな世界は来させぬ」といのちつきるまで義母の口ぐせ (おととと)
はは

百三十一. 反戦は疲れる作業なれどなお想像力の湧き出ずる夏 (Y.H)

百三十二. 戦争の悲惨苦しみ伝え続け折り鶴に祈る戦後八十年 (ひまわり)

百三十三. 一刻も早い収束を戦禍の中救い求める罪無き子どもらの眼 (あさがお)

百三十四. 子供等がお腹を満たし伸びのびと遊べる日常続きますように (U.K)

百三十五. なんどきもわれ立ち帰る迷いなき被爆者の声動かぬ星に (S.E)

百三十六. もう二度と地獄にさせぬ80年被爆者の道世界のひかり (S.Y)

百三十七. 皆共に平和願いて声高く被爆クスの木永遠に歌ふや (H.H)

反戦短歌 応募作品一覧

☆ここからは筑後小学校6年生の皆さんの作品です

百三十八. 核兵器被害を受けた原爆国平和を守り繰り返さない (uma9106)

百三十九. やめようよ人を傷つける戦争は守るべきだよ平和主義 (日本をJAPANに)

百四十. 一瞬の大きな音が二度とない命を落とす原子爆弾 (はなやま)

百四十一. 平和にさみな過ごしたいのしく残りの人生今も生きる (チクワ)

百四十二. 人々が元気に生きて幸せになりたいってね願っているから (もも)

百四十三. 戦争は人の命を消すものだ命消すより戦争を消そ (おにぎり)

百四十四. 戦争に反対しようみんないい豊かな町をつくっていくよ (あいうえお)

百四十五. 忘れない今日この日まで残るきず伝えていく二度としないため (GEN7)

百四十六. 戦争はやっても意味がないんだよみんな譲り合えばみんな喜ぶのに (ネコ剣道)

百四十七. 理不尽な戦争の中悲しみを思うまもなく絶望の音 (ネッコ1020)

百四十八. 戦争を二度と繰り返さない今もなお人々を苦しめる (ビッシン)

百四十九. はんせんしだいじな命まろうよみんなでつくらんげんしばくだん (カバオくんのまるやき)

反戦短歌 応募作品一覧

百五十. 毎日がみんな笑顔で安全に過ごせるような平和を祈る（たまごぬま）

百五十一. 傷つける意味ないことはしたらだめ平和を願う今日も毎日（百合音）

百五十二. 青い空平和の象徴白い鳩みんなが願う平和な世界に（ユイ）

百五十三. 戦争はずっとつづいてだめだけどずっと消えなくて心に残ること（タンスの角に指ぶつけた人）

百五十四. 平和主義みんなで学び守ろうよやっぱり平和が大事（さくらんぼ）

百五十五. 戦争は多くの人に影響がおよび苦しむ怖い戦い（スイマー〇）

百五十六. 思おうよこれ以上は戦争をやりたくない悲しむだけと（るる）

百五十七. 戦争での人の悲しみをもう二度とくり返さない平安のごとく（ゆきだるま）

百五十八. やめようよ悲しいだけの戦争をやる必要のない争い（ゆきだるまくん）

百五十九. 平和主義戦争おわらせまちづくり平和構築目指して進む（サツマイモ）

百六十. 平和主義みんなで守ればなくなるよ全国にわたるいやな戦争が（兄弟）

百六十一. 戦争に敗れていても今平和だけど今でもどこか争い（ひとりぼっち）

百六十二. 黒い空大きな爆弾夢であれ私達にとっては殺し合い（萌）

百六十三. 戦争は意味のないこと傷つけ激しい音が心に響く（かえクマ）

反戦短歌 応募作品一覧

百六十四. 抗争をなくして聞ける木々の音それはまさしく平和の響き（クリボー）

百六十五. 戦争はやってしまったら死者がでてみんなが泣いてかなしむよ（kyopaypay）

百六十六. 失った大事な家族もう二度とくり返さない戦争なんか（鎌倉チャーハン）

百六十七. 平和主義戦争反対二度としない平和の願いみんなの気持ち（uma32）

百六十八. 平和とはみんなの声がひびきあい咲きこぼれるよ笑顔の花が（みかん）

百六十九. 戦争は誰も得せず命散るもう二度と起こしたくない（メガネ）

百七十. 日本では平和の思い継がれてく忘れられない悲しい思い（ペンギン）

百七十一. 伝えよう戦争あったあの記憶風化させない未来のために（まろ）

百七十二. 友達と毎日楽しく遊んでも忘れはしない戦争のこと（ナマケモノ）

百七十三. 戦争の大きな悲しみ憎しみを二度と絶対産ませないんだ（野田龍馬）

百七十四. 戦争は二度とないよう希望して争いのない平和な国へ（心）

百七十五. 違う思い違う暮らしに違う言葉世界で言いたい違ってもいいと（ヒマワリ）

百七十六. 空爆後静寂流れ黒い雨降りて残りは焼け野原（短パン小僧）

反戦短歌 応募作品一覧

百七十七. 戦争は必ず語り継いでいくあの日の悲しみ忘れぬように（なつ美）

百七十八. 喧嘩はね殺し合いよりも話し合い一つの命大切にね（鈴木さん）

百七十九. 戦争は人々苦しむ痛みあり国民願う平和な暮らし（バスケット）

百八十. 戦争は平等なくみんな「てき」幸せなくなり空襲やまず（ひなた）

百八十一. 国のため戦う兵士戦争後の今も彼らは苦しんでいる（満月）

百八十二. 戦争は人生うばう死神だ今こそ世界で手をつなぐ時（筑後市のＺさん）

百八十三. せんそうはひとをきずつけトラウマにだからつづけないくりかえさない（キオ）

百八十四. 戦争は人の命をうばうことこわい思いのはじまりのこと（サリエル）

百八十五. 戦争は忘れなくてもやってくる平和な日々も奪われていく（華）

百八十六. 戦争は苦しむうけるつらい日々平和を願って二度と起こさない（バスケットボール）

百八十七. 戦争はみんなの命簡単に奪っていく危ない戦い（菜）

反戦短歌 応募作品一覧

百八十八. 戦争はなにもうまずになんども戦争反対日々の幸せ (べき丸)

百八十九. 私達あまり知らないあの日々をだけど知ろうと勉強してる (のあぴ)

百九十. 戦火消え平和をねがう花さく火心静かに未来をいのる (げん)

百九十一. 戦争へ大黒柱突撃し子を守るが嫁の涙 (スレー)

百九十二. 戦争は絶対にダメ反対だ平和な世界辛く無くなる (戦争×平和○)

百九十三. 一発の銃声ひびきハッとしたなぜか夜空を見上げているよ (戦争反対)

百九十四. 戦争が二度とないよう祈るべき人々の願い叶いありべき (スタブロ)

百九十五. 戦争は絶対だめ人々の笑顔いっぱい失われるから (銀野城)

百九十六. 語っていく戦争あったあの日のことわすれはしないあの日のこと (瑠璃)

百九十七. 黒い雨命あるまで戦う日ただいまのない世界の争い (りいな)

